

学科名	ゲームクリエイター科
コース名	ゲームプランナーコース
授業科目	キャリアデザイン4
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	講義+演習
時間数	30
単位数	2
担当教員	石倉 広也
実務経験	有
実務経験職種	CGデザイナー・演出
授業概要	クリエイターとして必須な知識を養います。就職のために必要な対策を行います。
到達目標	職業観が身につく、社会人として働くこと、職業につくことの意義を理解する。業界研究と分析により、業界と自分の接点を見出し、就職活動を積極的に進められるようにする。
授業方法	キャリアに関連した講義、個人別のワークを用いキャリアプランニングを行う。また、ゲーム性を取り入れたグループワークにおいて様々なテーマに取り組み、グループ内の意識共有を図る。業界研究においては関連企業の採用担当者、クリエイター、卒業生、上級生などの業界に関する講義を受け、業界の知識を身につける。個人ワークでは興味のある企業をリサーチレポートをまとめ、提出する。
成績評価方法	試験・課題 20% 個人、グループワークの課題について評価する。 レポート 20% 授業内容の理解度を確認するために実施する。 成果発表（口頭・実技） 20% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。 平常点 40% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。
履修上の注意	学生個々に進捗状況や志向が異なるため、定期的な面談を交え、個別対応を行う。 授業時限数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができないので注意すること。
教科書・教材	適宜レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

授業計画

第1回	キャリアガイダンス13：目標設定条件を考える。自己変革導入を行う。
第2回	キャリアガイダンス14：PDCAサイクルについて。意識の変化をはかる。
第3回	キャリアガイダンス15：自己肯定感について自己分析導入を行う。
第4回	キャリアガイダンス16：自己発見ワーク（1）障害になるものを特定する、劣等感になるものを特定する。
第5回	キャリアガイダンス17：自己発見ワーク（2）ストレスになるものを特定する、モチベーションの源を特定する。
第6回	キャリアガイダンス18：行動変容プログラム（1）コーチング1 目的志向型プログラムを行う。
第7回	キャリアガイダンス19：行動変容プログラム（2）コーチング2 問題解決型プログラムを行う。
第8回	キャリアガイダンス20：業界研究講義6（関連企業）
第9回	キャリアガイダンス21：業界研究講義7（関連企業）
第10回	キャリアガイダンス22：業界研究講義8（関連企業）
第11回	キャリアガイダンス23：業界研究講義9（関連企業）
第12回	キャリアガイダンス24：業界研究講義10（関連企業）

学科名	ゲームクリエイター科
コース名	ゲームプログラマーコース
授業科目	キャリアデザイン4
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	講義+演習
時間数	30
単位数	2
担当教員	東 充世
実務経験	有
実務経験職種	ゲームプログラマー
授業概要	就職活動に必要な知識、技術の習得を目指す。自己分析、業界研究、企業研究、履歴書作成、面接対策など全体講義と個別対応で進めつつ、定期的に企業様をお招きしての業界セミナー、会社説明会の実施、キャリアカウンセラーによる指導、就職エージェントによる支援により進路決定に向けての就職支援を目的とする。
到達目標	自己分析、業界研究を通じて就職活動に実際に利用できる履歴書を完成させる。面接指導、就職活動を通じ、担当教官の指示を仰ぎつつ自らの進路を決定することを目標とする。
授業方法	就職活動の流れ、求人票の見方からはじめ、業界研究、企業研究を重ね自分が望む職種、会社を見つけさせる。応募書類の作成（履歴書、各種証明書）自己PRなどを個別対応できめ細かく指導しながら、面接対策、就職活動を振り返り望む企業に積極的に応募するよう指導を行う。
成績評価方法	試験・課題 40% 進路決定によって評価 成果発表 40% 授業内に行われる指導によって評価 平常点 20% 授業態度（取り組み姿勢・挨拶・返事など）によって評価
履修上の注意	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授業理解を円滑にするため、個々のスキルに応じて復習を心がけること。
教科書・教材	毎回授業にて資料を提示する 参考書・参考資料等は授業中に指示をする

授業計画	
第1回	就職活動の流れ、働くことに対する意識付け、就職活動に必要なものの再確認
第2回	高等学校までの自分を振り返り、自分について研究する
第3回	自分の長所、短所などから自己PRポイントを見つける
第4回	業界についての知識を身につける
第5回	業界の職種を理解し、自分が目指す分野を研究する
第6回	業界の企業、会社の規模、求人票の見方などを理解する
第7回	自分にあった企業を見つけ、会社説明会などに参加する
第8回	自分にあった企業を見つけ、会社説明会などに参加する
第9回	本番を想定しての模擬面接によって自己PRできるよう練習を重ねる
第10回	業界について、仕事について直接、企業様からのお話を聞く
第11回	就職エージェントによる就職支援イベントを実施する
第12回	個人ワーク、グループワークを通じて面接対策を行う
第13回	個人ワーク、グループワークを通じて面接対策を行う
第14回	個人ワーク、グループワークを通じて面接対策を行う
第15回	自己の就職活動を振り返り今後に活かす